



## 大学病院のふるさとネットワークを紹介します！

看護師不足になんとか歯止めをかけようと、看護部と人事課で急遽立ち上げた“プロジェクトR”。Rとは“Recruit”の略ですが、“とにかく退職者を減らしたい！”これが最大の目標となり“ふるさとネットワークづくり”と称した、出身地区ごとの懇親会を計画しました。

まず、出身県別の“ふるさと名簿”を昨年の夏に作成。“お国ことばで話ができるリラックスした会にしたい”“少し位のお酒は欲しい”“出し物もしたい”と、ふくらむ企画に予算を計上していただきました。

地区を①北海道・東北②関東③中部・近畿・中四国・九州・沖縄の3つとし、11月から3月までに計4回(関東地区は2回)県ごとに設定されたテーブルで、延べ330名の看護職者とそのお子さんたちは、飛鳥の美味しい料理を囲み、ゲームやショータイムで楽しい時間を過ごしました。明石理事長と中田理事も毎回ご出席され、場を盛り上げて下さいました。

ショータイムの主演は多才な看護師たち。救命センターの4人組“メディック”のコンサート、手術室の舞踏家、沖縄三味線独奏、アコースティックソロ。彼らが会の盛況に花を添えたことは言うまでもありません。リュウマチ・膠原病内科の尾崎教授は、腹話術を披露して下さいました。

それまで知らなかった他のセクションの職員が、実は同じふるさとだった…そんな発見が人と人の繋がりを豊かにし、働きやすい元気な職場になることを期待しています。

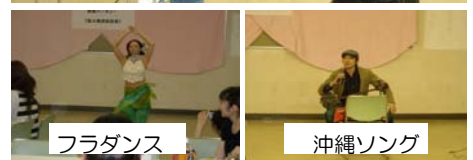
今年度5月には、同じ企画で新人歓迎会を開催。延べ140名がネットワークづくりに参加いたしました。マリアンで、長く大きく育てて欲しいと願います (看護部 小関皆子)



地区別ブロックで和気あいあい



人気バンド メディック



フラダンス

沖縄ソング

## モチベーションアップ・マネジメントより (柘植智幸 著書 PHP研究所)

新卒者が辞めなくなる  
出来事・きっかけ



一緒に仕事がしたくなる  
理想の上司とは



新卒者が辞めて行く間違ったOJT



1	上司のハードルで仕事を見られる
2	過去の武勇伝と比較される
3	形だけのルールを強制される
4	説教が待っている居酒屋へ強制送還

1	お洒落な格好に憧れる
2	自分の知らないような店を知っている
3	必ずレスポンスをくれる
4	テクニックではなく愛情を持って接してくれる
5	知識ではなく知恵もっている

1	OJT教育という名の下に放置していないか
2	1~10まで指示していないか
3	それぞれの新卒者に対して一人の人が総て教えていないか
4	過去の経験知を伝えるだけになっていないか
5	OJT担当者が適切なベンチマークになっているか

## 募集活動



弘前大学

7月4日  
学校主催の説明会(右写真)  
陣田NSC長や藤野師長(大学)  
が出前講義に行っている効果  
があり、多くの学生が説明を  
聞きにきました。



新宿NSビル

7月13日  
スーパースタッフ主催の合  
同説明会(右写真)  
405名の集客があり、81名  
の方が説明を聞きに来  
られ盛況でした。



お知らせ ナースサポートセンター運営会議 9/29(月) 12:00~13:15 大学病院第2会議室